



Numazu association for International Communications &amp; Exchanges

発行日 2019年1月1日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域自治課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<http://www.nice-numazu.org/>



# 岳陽市友好訪問団来沼!!



10月16日、岳陽市から公式訪問団5名、  
経済代表団4名の皆さんが沼津に到着し  
ました。翌日、沼津市長・沼津市議会副  
議長へ表敬訪問をし、夜は沼津リバーサ  
イドホテルにて歓迎会を開催しました。



**国際理解教育部会**
**～2018NICEにほんごスピーチコンテスト～**

- 日 時 10月6日(土)  
コンテスト 14:00～16:30  
交流会 17:00～17:45
- 場 所 沼津市立図書館4F視聴覚ホール
- 出場者 14名

NICEにほんごスピーチコンテストを10月6日(土)に開催いたしました。今年は8カ国から14名の方が出場されました。当日は心配していた台風もそれ、好天に恵まれ、出場された方々も晴々とした気持ちで臨まれたことと思います。

5分の限られた時間内でそれぞれの思いや感じていることなどを、身振り手振りを交え一生懸命勉強した日本語でスピーチをしました。



◇優 勝◇  
ディエップ ミン タン  
(ベトナム)  
「時間」



◇準優勝◇  
ティカピトリヤニ  
(インドネシア)  
「日本人の目に見えるインドネシア人」



◇第3位◇  
アンソリ  
(インドネシア)  
「潜在意識の夢」



- ◇審査員特別賞 スリヤディ (インドネシア)  
「イジメル」
- ◇審査員特別賞 ラマドウィチエヒョ ワルドヨ  
(インドネシア)  
「おろがみが教えてくれたこと」



コンテスト終了後には出場者と応援に来て下さった方々、運営スタッフとを交えた交流会の場を設けました。普段接点のない人たちとたくさん交流し、また、緊張もほぐれた中で大変にぎわいました。コンテストや交流会で色々なことを感じてもらったことと思っております。



次回も出場者の募集と併せて、観覧者も募集しておりますので、たくさんのご来場をお待ちしております。



**会員増強運動実施中！！**

**沼津商工会議所**

TEL 055-921-1000 FAX 055-921-1105



## ふれあい部会

### 見たい！知りたい！インドらいつ

9月29日(土)インド出身で市内在住の石井シュクリシュナさんを講師にお迎えして、インドのお国紹介講座を開催しました。

インドと聞くとまず頭に浮かぶのはカレーですが、スパイスは混ぜるものではなく、少ない種類のスパイスでそれぞれのスパイスの味を楽しむのがインド流。日本のカレーのように何十種類ものスパイスを混ぜて使うなんて信じられないことだそうです。



他にも“シュクリシュナさんの心のインド”に触れるお話が沢山ありました。

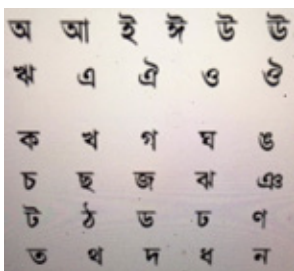
インドの国語はヒンディー語ですが、共通語は英語です。インドには言語が多すぎて同じインド人同士でもコミュニケーションが取れない



ことが多いので、誰でも英語が話せません。

サリーの長さは5mまたは8mで、86通りもの着方が！聴衆の中から3名の方にモデルになっていただき3通りの着方を見せていただきました。

シュクリシュナさんの出身地はベンガル地方。これ↓はベンガル語の文字と、赤と黄色が中心のベンガル地方の結婚式の衣装です。



インドの刺繍は派手ではありませんがとても緻密で、地方によって色や模様が違います。シュクリシュナさんとお弟子さんが作成した素晴らしい刺繍を見せていただきました。



インドは、親戚と一緒に大家族で暮らしている人が多く、シュクリシュナさんも、お父様の3人のご兄弟の家族と一緒に育ちました。大人も子供も大勢で、賑やかなのが当たり前だったので、日本に来た時、御主人と二人きりになってとても寂しかった、また「社交辞令」の壁に苦しみ、なかなか友だちができなかったとのこと。

インドでは宗教は生活の一部で、ヒンドゥー教のいろいろな行事があります。近くのスラムから食べ物をもらいに来る人にまず与え、その



あとで家族が食べるプチ断食のような行事があり、その後の食事がとても美味しく幸せを感じたことを覚えていて、その心の幸せこそが宗教というものではないかと仰っていました。お話のあとで、マングーラッシーを味見しながら、インド舞踊タゴールダンスを披露していただきました。



最後に、シュクリシュナさんから日本人へのメッセージがありました。「最近、日本文化の良さが薄れてきている気がします。日本人は自国の文化を学ぶ機会が少なくなっていると思います。両親や祖父母からもっと自国のココロの文化を学んで欲しいです。」

## 岳 陽 部 会

## 中国文化講座

9月7日(金)  
サンウェルぬ  
まづに於いて、  
中国文化講座  
が開催されま  
した。



ホッ!とする商店街 沼津仲見世商店街  
ネット通販実施中 1万円以上送料無料  
<http://n-shopping.jp/>

講師に工学院大学孔子学院の学院長 高橋恵子氏をお招きし、最新の中国の状況を面白おかしく紹介して頂きました。



昨年は64名、今年は77名と年々多くの方に参加して頂き、会場が手狭になり、来年は会場を変更しなければならぬのではと思えるほど、

うれしい悲鳴がでるくらいでした。

1時間30分の講座は、スライドを交えた講師の軽快なお話が皆さんをとりこにして、笑い声や驚きの声があちらこちらで響きわたりました。

最後の質疑応答では、感想や質問が多く時間が足りなくなるほどでした。



この講座では皆さんの知らない中国を誰よりも知ることが出来ます。来年も盛りだくさんの話題を提供する予定でありますので、是非お越し下さい。お待ちしております。



THANK YOU  
**110**  
ANNIVERSARY

旅の申し込みは日本旅行  
沼津営業所へ(土日祝休)  
055-929-1960

日本旅行





# 写真で綴る55周年カラマズー訪問記

◆7月19日(木) 9:00am 沼津市役所出発



市民訪問団	9名
+高校生	2名
市立高校訪問団	
生徒	9名
引率教諭	2名
計	22名

◆7月19日(木) 7:30pm カラマズー市役所到着。ホストファミリー・スタッフの皆さんが迎えてくださいました。コニー夫妻にお会いして感激!!



◆7月20日(金) ソーガッタク



10:00-11:00am  
水陸両用車  
(Harbor Ducks)  
でクルージング  
昼食後ショッピング  
を楽しむ

◆7月21日(土)・22日(日) ホストファミリー デイ



ホストファミリー・Gaye san  
と32年間の深い絆は今も健在

◆7月22日(日) 歓迎会 4:30-8:00pm  
Gull Lake



◆7月23日(月) カヌー体験  
ヴィックスバーグ ヴィレッジ



◆7月24日(火) ギルモア自動車博物館/  
昼食 (Dr. Deppen 邸)/  
インペリアルビバレッジ視察



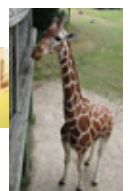
◆7月25日(水) カラマズーヴァリーコミュニティ  
カレッジ内フードイノベーション部門視察&  
昼食/ショッピング



ピザ



◆7月26日(木) バインダーパーク動物園  
マジックショー&ミュージアム見学



◆7月27日(金) 乗馬体験  
パブリックメディア



◆7月28日(土)  
ホストファミリー デイ/3:00pm  
-ポトラックパーティー (Dr. Carter 邸)



◆7月29日(日)  
Good Bye! See you next time.



カラマズー滞在中  
は大変お世話にな  
りました。  
Thank you!

## 国際交流フェアが開催されました！

11月25日(日)に、沼津市の主催で「国際交流フェア」がサンウェルぬまづにて開催されました。沼津国際交流協会からは例年どおり岳陽部会、カラマズー部会、ふれあい部会及び、国際理解教育部会の4部会が出展ブースとして参加しました。当日は約600名の来場者が訪れ、大変賑やかで楽しいイベントとなりました。協会員をはじめご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

### 岳陽部会

今年は私たちの朋友（ボンヨウ）友達である岳陽市の張馳（チョウチ）さんが9月から行政研修生として沼津市に派遣され、フェアでは岳陽市の紹介もしてくれました。岳陽部会のブースでは、友好都市を結んで33年間の歩みを写真



パネルや記念品で展示し、岳陽市が三国志とのかかわりあいが深い地であることも紹介しました。来年も岳陽市に興味を持っ

ていただけるよう、新しい一面を沢山紹介して行きたいと思います。

### カラマズー部会

今年の国際交流フェア、カラマズー部会のブースはいつもの4階多目的ホールから2階へ移動して設営されました。占用面積が広くなったため、展示も物販も試食も余裕をもって行うことができました。展示部門は今夏沼津市民訪問団がカラマズーを訪問した時の写真、沼津市立沼津高等学校の生徒の報告、姉妹都市ホームステイ体験参加者の報告、昨夏のカラマズー市民訪問団及び、姉妹都市提携時の画



像やカラマズー市の紹介などを展示しました。

物販部門は現地で買い付けてきた食品や雑貨を販売。試食部門は、これも現地で買い付けてきたカラマズー特産のブルーベリージャムとブルーベリーティーを提供し、好評でした。

### ふれあい部会

ふれあい部会では、毎年好評の国旗をつけたフルーツデコマグネットと、初の試みアロマ石



鹸の2つの体験ブースを開催しました。

年齢や性別、国籍を問わずたくさんの方が参加して、生き生きと楽しんでいました。事前準備では細かい作業も多く、大変なこともありますが、これからも参加者全員が、笑顔でいられる時間と場所になるように心がけ、大切にしていきたいと思います。

### 国際理解教育部会

国際理解教育部会は今年も国際交流フェアに6名の運営スタッフで参加いたしました。我々のブース



には約150人の来場者がコメントを残してくださいました。普段の活動（にほんご教室、ミングリングパーティー）の紹介とスピーチコンテストの活動を展示いたしました。